

7月31日、3年ぶりに航空祭が千歳商工会の協力を得て「千歳のまちの航空祭2022」と名称を変え開催され、約46000人が久しぶりに夏の航空イベントを楽しんだ。

今回は千歳商工会の協力を得て「千歳のまちの航空祭2022」と名称を変えて、市内3か所で行っている各種イベントを行った。

千歳市中心部のクリーノベルトでは装備品展示、千歳アウトレットモール・レラでは救難隊の装具やパネル展示、日本航空・新千歳空港ターミナル跡地には大型機がそれぞれ展示され、装備品等の間隔をとり、

航空機火災用消防車を展示、街をあげ開催された。航空機展示に於いてはコロナ対策の為、2空団飛行場地区には小型機、旧千歳空港ターミナル跡地には大型機がそれぞれ展示され、装備品等の間隔をとり、

観客の密集を避け

していた。

更に基地会場へ

の入場につ

いては、

ネット

での事前

申込によ

る抽選制

として入

場者数を

制限した。

前日30

日の前夜

祭は座席

指定の会

食(ノン

アルコール)

当日の祝

賀会は

基地体育

館におい

て出席者

を最小に

して、感

染予防

のため飲

食提供も

なしと徹

底した。

飛行展

示につ



オープニングセレモニーのテープカット

千歳のまちの航空祭2022



基地体育館での祝賀会



千鷲会朝倉相談役の一丁締めで閉会

が披露された。正午からのブルーインパルスの曲技飛行では、見事な演目ごとに観衆から惜しみない大きな拍手が送られていた。未だかつてないコロナ禍における、3年ぶりの航空祭開催であったが、大きな混乱もなく大盛況



F15コックピット公開

びF35による機動飛行等、操縦者の高度な操縦技術



混雑する前夜祭受付



のうちに無事に終えることができたことは、基地所属隊員はじめ関係者の並々ならぬ努力の賜物に他ならず、OBとして敬意を表したい。千鷲会は前夜祭及び祝賀会の主催者として、招待者の接待、受付及び写真撮影等のため延べ18名が参加した。



7月23日会員と隊員33名で雄魂碑周辺の環境整備を実施



大型機展示会場

【編集後記】航空祭が三年ぶりに無事開催されました。コロナ禍のせいもあってか千鷲会会員でも入場が叶わなかったのは寂しかった、残念だったという声がありました。OBが航空祭の会場で貢献できる場が広がればその声に応えることができるのではと思いました。

- 物故会員
令和3年7月
本間 征四郎 (梅が丘)
令和4年
1月 関川 龍一 (稲穂)
2月 秋本 宏穰 (文京)
3月 内山 和幸 (花園)
3月 谷口 保男 (高台)
7月 大谷 裕治 (あすき)
8月 江田 正毅 (栄町)
- 謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

- 各紹介
新入会
6月 佐藤 泰 (2空司)
6月 所 潤一 (特輸)
7月 小山 奈緒美 (空業務)

千鷲会の会員数
(9月15日現在)

正会員	474名
賛助会員	
個人	16社
団体	15名